

JICA 日系社会シニア・ボランティアの小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

2月はカーニバルの月です。南米のカーニバルと言えば「リオのカーニバル」ですね。すぐに、あの熱狂的な踊りを連想しますが、アルゼンチンのカーニバルは少し違います。今回は、アルゼンチン、サルタのカーニバルをご紹介します。

私達は、サルタの郊外にある CAMPO QUIJANO(カンポ・キハノ)というところで行われた CARNIVAL DE ANTAÑO という、ローカル色豊かでこじんまりとした、でも、心温まるカーニバルに参加しました。

この地域には、ガウチョ（アメリカでいうならカーボーイ）がたくさん住んでいます。ガウチョたちはフォルクローレ(南米のフォークダンス) が大好き。ガウチョの正装でカーニバルに参加します。

日本の学校の校庭ほどの広さのところ午後2時ごろから夜10時まで、アサード(牛肉のバーベキュー) やワインを楽しみながら、フォルクローレを踊ります。



男性も女性もミントのようなとても良い香りがする花を帽子や髪につるのが心憎いですね。



こちらに来てからフォルクローレを習い始めた私と夫は、初めて gaucho たちの踊りを見たとき、あまりの見事さにびっくりしました。『これぞフォルクローレ!』。彼らは心から踊りを楽しんでいました。そんな中、日本人である私たちがフォルクローレを踊るのが珍しいらしく、あちこちからお声がかかり、ちょっとした国際親善でした。サルタの gaucho たちは、見た目はちょっと怖そうですが、親切で心優しい人たちでした。





gaucho のみなさん、
 来年もまた参加しますね。

